

大津・南部 の森づくり

平成 23 年(2011 年)6 月 21 日発行

< 編集・発行(偶数月) >

滋賀県西部・南部森林整備事務所 林業振興担当

TEL 077-527-0655 FAX 077-523-1831

E-mail dj35@pref.shiga.lg.jp

<http://www.pref.shiga.jp/d/o-ringyo/>

滋賀県初！SGEC森林認証審査！～金勝生産森林組合&甲賀林材(株)～

平成 23 年 6 月 13 日～15 日にかけて、金勝生産森林組合と甲賀林材株式会社がSGEC森林認証の取得審査を受けられました。

金勝生森の現地審査状況

熱帯林の減少問題から地球サミットを経て創設された森林認証は、世界各国へと広がり、現在では森林管理協議会(FSC)とPEFC森林認証プログラム(PEFC)の2大勢力になっています。日本においても平成15年に日本独自の「緑の循環」認証会議(SGEC)が設立され、全国に広まっています。しかし、滋賀県では現在、認証された団体は無く、この2団体が認証されれば滋賀県初の取得団体となります。



取得のきっかけは、平成21年9月の滋賀県南部流域森林づくり委員会開催の模擬認証審査において模擬審査団体となった金勝生産森林組合が、取得の意義と必要性を実感するとともに、取得可能であるとの手応えから、翌年平成22年度にかけて討

議・検討してSGEC森林認証取得を決断されました。また、森林認証では、森林管理の認証と同時に、分別・表示による流通の認証も不可欠であることから、木材市場である甲賀林材(株)とともに平成22年度末に審査申請書を提出し、今回、(社)日本森林技術協会による取得審査を受けました。

審査の結果は、早ければ7月末頃に分かる予定です。この取得が実現すれば、本県の森林・林業にも新たな展開が期待できると思われます。



甲賀林材(株)の書類審査状況

SGECの7つの森林認証基準

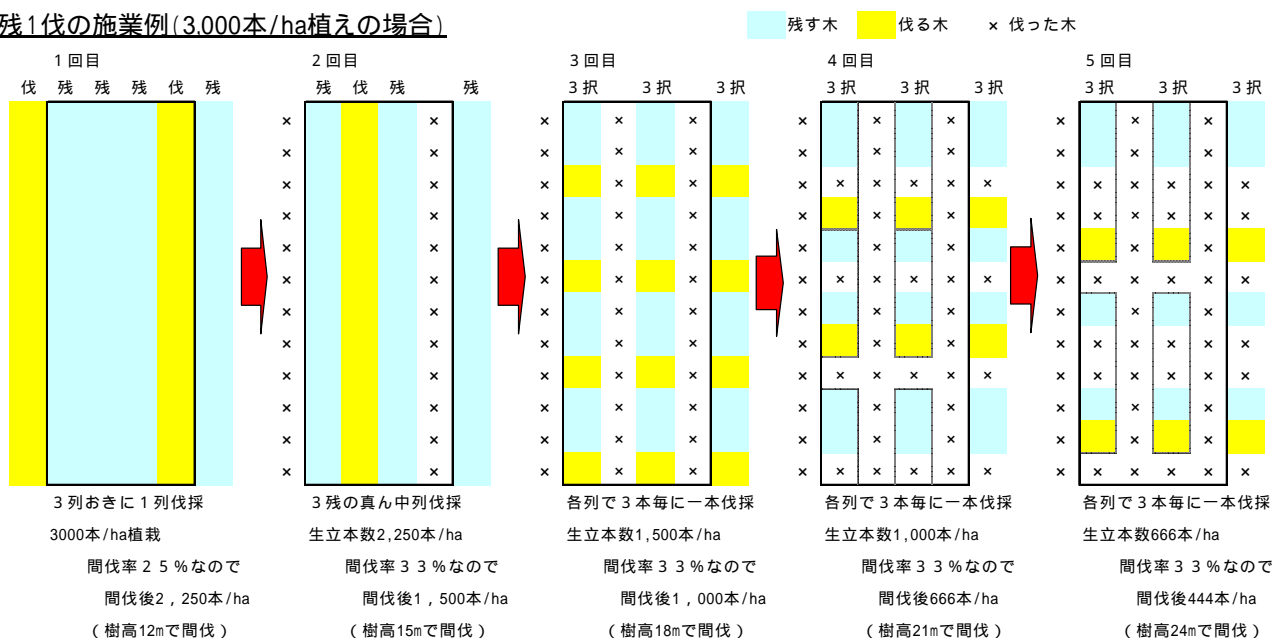
基準 : 認証対象森林の明示及びその管理方法の確定	基準 : 持続的森林経営のための法的・制度的枠組み
基準 : 生物多様性の保全	基準 : 社会・経済的便益の維持及び増進
基準 : 土壌及び水資源の保全と維持	基準 : モニタリングと情報公開
基準 : 森林生態系の生産力及び健全性の確保	

～林業技術情報～ 列状間伐のすすめ！

平成21年に国が提示した森林・林業再生プランにおいても集約化施業の必要性があげられています。集約化施業は、施業の効率性が重要なポイントになります。しかし、労働生産性の向上のためには、路網配置や作業システムの選択等だけでなく、間伐方法も検討していくべき課題があります。

特に、間伐作業においては通常の点状の間伐ではなく「列状間伐」の導入も労働生産性向上の一手段として有効です。列状間伐の施業例は、下図のような「3残1伐」方式（3列残して1列伐採する）や「2残1伐」方式（2列残して1列伐採する）があります。列状間伐は、機械的に植栽列の1列を伐るので、選木の手間が要らない。太い材も含まれる。掛かり木になりにくい。などのメリットがあります。は労働生産性の向上、は収入が見込め、は労働安全に有効ということです。従来は、偏心する。不健全木も残る。などの心配も騒がれましたが、については各試験データでも確かな根拠は見つからず、も残存列内への風の進入対策としては有用とも考えられます。

3残1伐の施業例(3,000本/ha植えの場合)



(注1) 3回目以降の間伐は、既に出来た伐採列を利用した点状間伐に切り替えることも可能です。

(注2) 1回目の間伐では、残存列の伐採列側の不良木の間伐を加えることで、間伐率30%以上が可能です。

おしらせ 2011年は、国際森林年！！

今年は、全国各地で「国際森林年」に関するイベントが開催されています。(林野庁HP参照)



2011・国際森林年

2011年7月4日(月) 13:00～18:00 「国際森林年記念シンポジウム」東京の経団連会館にて。

2011年7月17日(日) 10:00～16:00

「市民と森林をつなぐ国際森林年のつどい」北房文化センター(岡山県真庭市)にて。

森林・林業基本計画に関する意見・情報の募集について

林野庁では、6/30まで表記計画の意見を募集しています。林野庁HPへアクセスください。

びわ湖を支える水源の森林体験ツアー (滋賀県庁森林政策課へ申し込み)

2011年7月23日(土) 10:00～16:00 講演および山門水源の森体験ツアー。西浅井文化ホール他にて。